

酒 米のさらなる品質向上のために

令和5年度湯沢市酒造好適米品評会の授賞式が、湯沢グランドホテルで行われました。

品評会は、酒米の品質の向上と、生産者の意欲高揚および相互に技術を研鑽し合うことを目的に開催されており、出品された合計173点のうち、外観審査と千粒重や粗タンパク質の分析審査の結果から全22点を選抜し、その生産者が表彰されました。



2月8日

健康 寿命の延伸、地域の活性化に

市は明治安田生命保険相互会社（秋田支社長：岸本輝彦、写真左）と、「健康増進に関する連携協定」を締結しました。

岸本支社長は「地域の皆さまの健康寿命の延伸、地域の活性化につながるよう取り組んでいきたい」とあいさつ。本協定により、「健康増進」「子育て」「介護・認知症」に係わる最適な行政サービスの案内などが行われ、市民サービスの向上が期待されます。



2月6日

気 力と体力の限界に挑む

湯沢市雄勝郡剣道連盟主催の「第45回3時間立切試合」が総合体育館で行われました。

基立と呼ばれる剣士2人が、3時間でそれぞれ33人の挑戦者と休みなく試合をし、気力と体力の限界に挑戦。4年ぶりの開催となった今年、基立の1人を、錬士7段、湯沢翔北高校剣道部監督の佐々木祐輔さんが務め、教え子らの声援と歓声の中、見事に立切りました。



1月21日

姉妹都市提携60周年、釧路市長ら来湯

2月9日～11日、北海道釧路市との姉妹都市提携60周年を記念し、蝦名大也釧路市長を始めとする訪問団が市を訪れました。



「犬っこまつり」の会場を視察した蝦名釧路市長は「しんこ（米粉）細工」の作り方を熱心に聞くなど、市民との交流を深めました（写真A左）。

また、釧路市訪問団に先立ち、1月26日には鮭とイクラの衣装が印象的なCool釧路市観光大使の秋葉令奈さん（写真B左）が、佐藤市長を表敬訪問しました。秋葉さんは、プロデュースから各種制作・デザイン、ステージパフォーマンスに至るまでを一貫して手掛ける「クリエイティブアイドル」として全国各地で釧路市のPR活動を行っています。



A

台湾との交流と児童生徒の国際感覚の醸成を

1月16日～19日の4日間、台湾の小学生3人、中学生3人が、湯沢東小学校、湯沢北中学校にそれぞれ短期体験入学をしました。

これは、市の交流人口の増加を図るとともに、児童生徒の国際感覚の醸成を目的として行われたもの。体験入学を行った児童生徒は、通常授業やスキー体験のほか、稲庭うどん製作、蒔絵、まなぐ凧製作を体験し、市の伝統文化にも触れました。



稲庭うどん製作体験



スキー体験



蒔絵体験



レクリエーションの様子（小3）



書道の授業（小5）



音楽の授業で琴に触れる（小5）



2月3日

首都圏ふるさと湯沢会

首都圏ふるさと湯沢会の第17回総会が東京都荒川区で開催されました。

当日は、首都圏に住む湯沢市出身者など約140人が参加。市からは、佐藤市長や高橋市議会議員がお祝いに駆け付け、市政の近況などを報告しました。懇親会では、参加者がお互いふるさとを懐かしみながら、思い出話を花を咲かせていました。また、会場内には恒例の湯沢の物産販売コーナーが設けられ、ふるさとの味を買い求める人でにぎわいました。



2月7日

伝統文化を身近に感じ、もの作りの楽しさを

湯沢市観光物産協会（会長：佐藤正明、写真中央）が秋田エプソン株式会社（代表取締役社長：平田潤、写真右）から提供を受けた、バイオマスプラスチックで製作された「犬っこしんこ細工（模型）」3,000体が、市内小学校の児童に寄贈されました。

佐藤会長は「子どもたちが自由に色付けをして、しんこ細工に興味をもってもらうことが、地域の伝統文化の継承につながればと期待している」と話し、武石教育長に目録を手渡しました。